（1）　明治20年創刊　第37270号（第3種郵便物認可）　THE JOMO SHINBUN　1998年（平成10年）12月28日（月曜日）　（日刊）

上毛新聞
発行所（〒371-8666）前橋市千代田1-50-21
上毛新聞社
電話 市外局番（027）
（販売）251-9977　（広告）251-9944
（読者）251-2113　（社会）251-9955
（政経）251-9933　（出版）251-9966
（制作）251-9985　（発送）251-9984
（総務）251-5911
© 上毛新聞社 1998年

4月から伊勢崎信金 窓口営業夜9時まで

競争激化で延長

当初は1店舗 群馬中央信金も拡充へ

ビッグバン（金融制度改革）の進展に伴って顧客サービス競争が激化するなかで、伊勢崎信用金庫（伊勢崎市中央町、木暮哲哉理事長）は二十七日から窓口業務を午後九時まで延長する方針を固めた。当初は同市内の一店舗だが、利用状況を見ながら対象店舗拡大や休日への展開も検討する。また、前橋市内の出張所で午後七時まで窓口業務を行っている群馬中央信用金庫（前橋市千代田町、小川丁理事長）も取り組み強化を検討している。夜間の窓口業務延長は県内の銀行や信用組合での取り組みはなく、全国信用金庫協会でも「午後九時までの窓口営業は聞いたことがなく、珍しい」としている。

伊勢崎信用金庫が営業時間を延長するのは、同市宮子町のTBSハウジング支店。これまで午後三時で終了していた預金や払い出し、融資、新規口座作成などの業務を午後九時に延長する。振り込みなど他の金融機関と関係する業務については予約として受け付け、翌営業日に処理する。

同信用金庫は、一九九四年から一部店舗で土曜や休日に相談業務を行っており、現在は住宅展示場の隣接地に開設した同支店など三店舗で実施している。しかし、ビッグバンの進展に伴って今後さらに、相談業務などが増えるため、一九九四年から一部店舗で土曜や休日に相談業務を行っており、現ら夜間や休日のニーズが高まり、休日営業の態勢づくりが不可欠になると判断、その第一歩として、平日の時間延長を手がけることとした。

同支店は、同市西部の商業集積地の一角にあり、すぐ隣に相談業務を日曜のほか平日は午後九時まで行っている群馬中央信用金庫がある。同庫は銀行を中心にATMを入れている。

伊勢崎信金では、「窓口業務は若い世代は、夜や休日でなければ来られない。店舗の地域性と顧客の動きに合わせていかないと客獲得競争が激化」夕方や、週末の相談業務のほか、ATMの増設や稼働時間延長を検討している。

重大ニュース検証ぐんま'98 ■11口

不況深刻化

倒産増え、雇用悪化

設備投資冷え込み続く

銀行や証券会社の破たん、不況風が一段と強まった一年となった。

民間信用調査機関の帝国データバンクの前橋支店によると、今年の県内倒産（負債総額一千万円以上）は十一月末までに百九十八件になり、前年同期比で二三・八％増と高水準。負債額では前年を下回ったものの、不況型の倒産が急増しており、経営環境の厳しさを裏付けた。

もっぱら、発注元が技術やコスト面で企業の選別化を厳しくしていることを痛切に感じる一年だった。

設備投資の冷え込みが依然として続いている。今年最少。有効求人倍率も昨年六月から百割下がりだった。そうした中、一部では、売額も前年比増加傾向。続いて、「受注は中小企業は不景気が長引くだけに、先行きが心配でなかなか投資に踏み切れず、二の足を踏んでいる」という業者も。

前橋市で繊維関連を手がける製造業は「品質が良いことを認められ、また、自社で最受注した仕事は中小企業は不景気が長引くだけに、先行きが心配でなかなか投資に踏み切れず、二の足を踏んでいる」という業者も。

雇用情勢はリストラなど今こそ開発に力をそそぐ必要がある。しかし、実際に、「設備投資の冷え込みが続いている」との声が聞こえ始めた。これまでにあるが明るい材料は出てきた。十一月の倒産は今年に入って件数、負債額ともに最少であったが、「景気回復への胎動であってほしい」との思いは今、一つになっている。

中小製造業でも景気回復の兆しを待ち望む声は日増しに高まっている。

師走人

■門松作り

タイオキシン対策で県 母乳中の濃度調査

猛毒とされるダイオキシン類が母乳から検出され、全国規模で行う調査の一環で、本県を含む二十二県がこの実態調査に着手する。ダイオキシン類は分解しにくく生体の脂肪組織に蓄積しやすいため、特に脂肪の多く含む母乳中のダイオキシン類の影響を心配する声が高まっている。環境庁は一九九六年十二月、体重一キロ当たりの一日の摂取量を五ピコグラム（一兆分の一グラム）以下としている。

このため県は本年度の厚生省科学研究「母乳中のダイオキシン類に関する調査」に参加、調査項目は①ダイオキシン類十七②コプラナーPCB十二③農薬五、併せて調査対象者の健康状態、食習慣、住環境、新生児の発育状況など多岐にわたる。

対象は前橋市内に十年以上居住し、来年一月末までに第一子を出産する二十人、二十五歳～二十九歳、三十～三十四歳の各十人の母乳を採取する。研修は各回ともケアプラン作成の実習などをさまざまな業務を選抜する実務研修受講し、四月から十二月まで計四回実施する。

来月から実務研修 介護支援専門員を養成

県は、高齢化などのサービス急増が活発化しており、県内では銀行を中心にATMの利便性向上などに力を入れている。

伊勢崎信金では、「窓口の必要性は若い世代は、夜や休日でなければ来られない。店舗の地域性と顧客の動きに合わせていかないと客獲得競争が激化」夕方や、週末の相談業務のほか、ATMの増設や稼働時間延長。

戸倉で温泉掘削スタート

片品村は尾瀬のスリ口にあたる同村戸倉で温泉掘削事業に着手した。一九九九年十月末までの工期に「深さ」三百メートルまで掘削する予定。温泉は同地区の希望世帯に配湯するほか、湯量が多い場合は村としての有効活用方法も検討するという。

戸倉地区には戸倉ダムが建設されることから、同ダム建設の影響を受ける地域の生活再建策の一環として、地域の要望を踏まえ、県の補助を受けて温泉を掘削する。村としては温泉掘削事業を行うのは初めて。工事費は四千五百万円で、十二月臨時村議会の議決を経て着工。温泉掘削の場所は尾瀬・大清水口へ向かう国道脇の尾瀬ハイランドの駐車場。

新規中学校卒業予定者を採用予定の事業主の皆さんへ

◇平成十一年一月一日は新規中学校卒業予定者の採用選考開始日です。

◇応募書類は労働省で定めたものに限定しました。

◇公正な採用選考を行って、就職差別をなくしましょう。

◇新規学卒者以外の応募者についても、JIS規格の履歴書を使用しましょう。

労働省・群馬県・ハローワーク

きょうの紙面

バブル後の日本経済検証

2 経済企画庁は、バブル崩壊後の日本経済を検証した98年版「経済の回顧と課題」（ミニ経済白書）を発表。地価や株価がいずれ回復するとの甘い期待が不良債権処理を先延ばしにしてきたと、政策対応を自己批判した。

子どもの「言い分」併記を

3 校長が教育委員会に提出する体罰報告書について、8都県3政令市は、報告書の客観性確保のため、体罰を受けた子どもの「言い分」を独立させ両論併記するよう学校に求めていることが共同通信の調査で分かった。

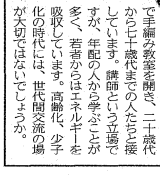
弥生土器にシカ射る狩人

4 大阪府富田林市の彼方（おちかた）遺跡で、弓でシカを射る狩人を線刻した弥生時代後期後半（2世紀後半）の土器片＝写真＝が出土していたことが分かった。祭祀（さいし）に関連して描かれたと推定される。

英軍機にイラク対空砲火

5 米国防総省は、イラク南部の飛行禁止空域を監視飛行中の英軍機2機がイラクの対空砲火を受けたが、応戦せず帰還したと発表した。

21世紀への扉 創刊111周年



主婦 大嶋 信子さん（50）甘楽町

十二年前から公民館などで手編み教室を開き、二十歳代から七十歳代までの人たちと接しています。講師という場ですが、年配の人から学ぶことが多く、若者からはネルギーを吸収しています。高齢化、少子化の時代には、世代間交流の場が大切ではないでしょうか。

読者センター　電話 027-254-9922　ファクス 027-251-4334　ご意見、情報をお寄せください　午前10時から午後6時まで

干支にちなんだ企画展（14）少年の凶悪事件が激増（16）

いい旅しよう 上州観光バス
永井運輸株式会社／貸切バス事業部
TEL.027-243-2626　群馬県前橋市南町3丁目21－8
上州観光サービス株式会社
TEL.0277-54-0054　群馬県桐生市広沢町3丁目3984-1

MILD SEVEN　3mg　250円　エクストラライト　タール3mg ニコチン0.3mg
未成年者の喫煙は禁じられています
あなたの健康を損ねうおそれがありますので吸いすぎに注意しましょう

山壱秋

さっそは仕事納め。慌ただしい年の瀬だが、押し詰まってくると、ふと立ち止まって一年を振り返りたくなる。戦争最悪の状況、導入されたキスタンの核実験、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）のミサイル発射など、なぜか暗い話題ばかりが思い浮かぶ。そんな今年の出来事を漢字文字で表した「創作四字熟語」を、住友生命が募集したところ、六千点を超える応募作品が集まった。ウーンとうなるほど、と思わず相づちを打ちたくなるようなカラリとした、その中から、「戦争」、「核」、「不況」で職を失う▼長期の不況で職を失い、悩みと悩むようすを表現した「疑無失悩」。「職務」質問をもらったのだが、倒産やリストラの憂き目に遭って、頭を抱えるサラリーマンの心情がにじみ出ている▼夏行のカレーに砒素が混入され、その毒を食べた住民四人が死亡、六十三人が中毒となった和歌山の無差別殺人事件を素材にした「砒素問題」。その後、相次ぐ「毒入り事件」の引き金となった「毒入り事件の引き金」。「毒物」、「毒」、「毒」、「毒